

今年もいろいろありました

早いもので一二月。住職が感じた今年の一〇大ニュースを紹介します。

◆報恩講、ご法話は英月さん

五年前に京都から英月さんにご法話に来ていただく予定でしたが、コロナのため実現しませんでした。今回、念願が叶い、楽しく聴聞することができました。

◆あの日から三十年

一九九五年一月に発生した阪神淡路大震災。多くの人が亡くなり道路や鉄道は崩壊しました。そして三月に発生したオウム真理教による毒ガスサリン事件は、人類の繁栄と平和を揺るがす大事件でした。あれから三〇年、私たちはその教訓を活かしているのでしょうか？

◆海外の紛争続く

ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナなど、世界の各地で紛争や戦争が続いています。さまざまな歴史や利害が複雑に絡み合っており、解決は容易ではありません。一刻も早い平和を

願うばかりです。

◆全国でクマ被害相次ぐ

今年ほどクマの被害が多い年は聞いたことがありません。クマはとても臆病な動物なのだとか。ドングリなどの不作が原因とか。これも温暖化が影響しているのでしょうか。

◆さよならパンダ

白浜のパンダが故郷の中国に帰って行きました。パンダはクマの仲間だそうです。こんなクマならもっと会いたいです。

◆皆既月食

九月に皆既月食があり、全国的に晴天に恵まれて、真っ赤なお月さまを眺めることができました。次回は三月三日のおひな様の日に観測できます。

◆住職、タイへ行く

二泊三日の弾丸日程でタイのバンコクへ。たくさんのお寺にお参りすることができました。

◆還暦を迎えました

住職は六〇歳に。もうしばらくサラリーマンを続けながら、健康に気を付けて頑張ります。

◆クレジットカード不正利用される

どこの誰かわからない人が住職のカードを使ってゲームを楽しんでいました。みなさんもご注意ください。

◆民生委員

一二月から民生委員になりました。みなさまよろしくお願ひします。

一二月(師走)

七日(日) 組住職・総代研修会

一三日(土) お講 十一時

三一日(水) 除夜会(内勤め)

一月一日(祝) 元旦会 八時半

ガラスの天井を打ち破る

ジェンダー平等推進委員 安食真城
(本願寺新報十一月一日号より)

「ガラスの天井」という言葉を最近よく聞きます。職場や組織で、男性と同じように仕事をこなし実績を重ねてキャリアアップの階段を昇っている、女性の階段の先にだけ天井があつて、それ以上昇進することができなくなる障壁をさします。天井という障壁を作っているのは階段を昇っている本人ではありません。長い伝統や組織文化、無意識の思い込みといった社会の環境が絡み合っており上げてきたものです。この天井は見る手が届かず、気づきにくいので、私たちはそれを取り除こうという意識や行動を起こすことが難しいのです。

これらは決して他人ごとではありません。また、女性だけの問題にとどまらず、LGBTQ+などの性的マイノリティの人に対しても同様の障壁が行く手を阻んでいます。

残念ながら、私たちの宗門も、長い歴史の中で堅牢(けんろう)なガラスの天井や壁を築き、それを取り除く十分な努力をできていませんでした。お寺の住職は男性が圧倒的に多く、約八〇%の寺院では門徒総代が男性のみで構成されています。また、最終的な決定権を男性が握っていることが多いことから、ガラスの天井の存在は明らかです。「その何が問題なの?」「何も困っていないよ」という方がおられるかもしれません。あるいは「やっぱり性別の役割分担は必要でしょ」という人もおられるかもしれません。しかし、その発言こそが障壁を温存し、女性やマイノリティの社会参画を拒み続けてきたのです。

宗門においてガラスの天井を打ち破り、ジェンダー平等の推進に取り組むことは、あらゆる性差別を解消し、誰一人として排除されることなく参画することができる同朋教団をめざすことにはかなりません。そのため、親鸞聖人のみ教えに基づく差別解消・人権尊重であることを確認し、念仏者として、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現、御同朋の社会をめざしましょう。

一二月の掃除当番は、田中仁一さんです。お世話様ですがよろしくお願ひいたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ





お寺めぐり(タイ最終回) 王宮寺院(ワット・プラケオ)

タイ・バンコク観光の一番の目玉は、エメラルド寺院とも呼ばれるワット・プラケオです。王室専用の仏教儀式の場であり、王宮の敷地内にあります。ご本尊はエメラルドで造られたお釈迦さま、建物はあちこちに黄金や細やかな装飾が施され、その美しさに圧倒されます。そのため建物の前で結婚式の写真撮ったり、カップルで写真を撮ったりする人が続出。民族衣装の貸し出しや、お土産屋さん、プロのカメラマンによる撮影サービスなどもあり、まさにテーマパークのようです。残念ながら、私が訪れた日は、お堂の中に入ることができませんでした。

だが、外から合掌礼拝をしました。それにしても観光客の多いこと！もちろん私もその一人です。いま、日本ではインバウンドの観光客が多いことが話題になっていますが、中国をはじめ世界各国からたくさんの方が来られているようでした。

なお、タイのお寺は、袖のないシャツや短パンでは入場できません。街を歩くときは薄着でも、境内に入るときには羽織るものを持っていくと良いと思います。

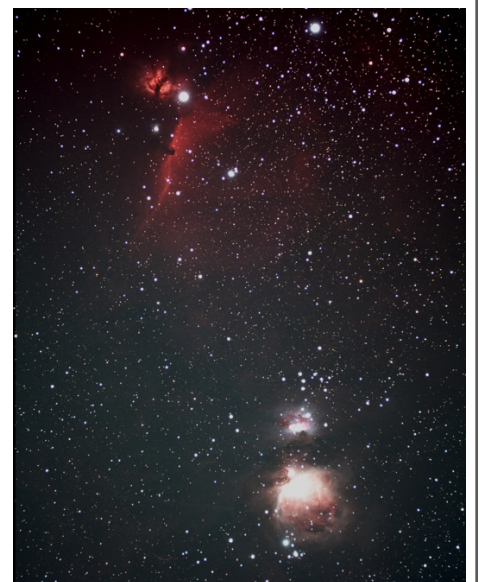


ところで、タイといえばタイ料理！唐辛子の効いた激辛なトムヤムクンスープとかココナッツミルクが入ったタイカレーは有名ですね。一人旅なので高級レストランには入りにくいですが、街の食堂やフードコートで、安くて美味しい料理を堪能しました。個人的には、ナンプラーの香りが食欲をそそるチャーハンや、エビやニラが入った焼きソバが絶品でした。

タイのお寺めぐりは、今回で終了です。タイには、ブツ飛んだお寺がまだまだたくさんありそうなので、チャンスがあれば、また行ってみたいものです。

次回からは日本のお寺を紹介します。お楽しみに！ (住職)

住職の星空案内



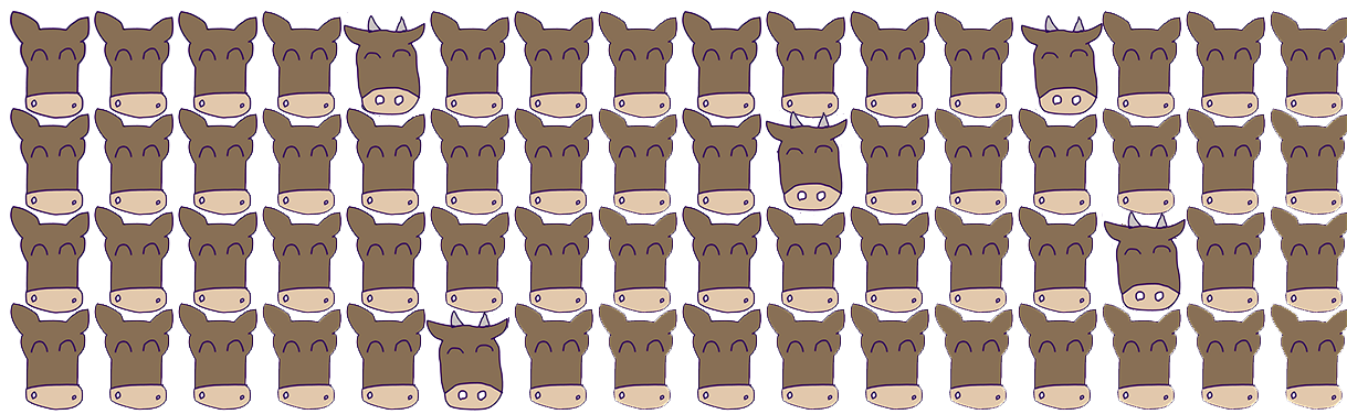
冬の星座といえば、やっぱりオリオン座がイチ推しです。なんといっても明るい星が多くて見つけやすい。ベテルギウスとリゲルという二つの一等星、そして二等星は五つあります。オリオン座の周りには、星の残骸のガスが濃密に漂っていて、望遠鏡やカメラで撮影すると、星の光に照らされたガスがぼんやり赤く輝いているのがわかります。

その少し下には、有名なオリオン大星雲があります。肉眼でもぼんやりとした雲のような塊を見つけないことができるでしょう。宇宙空間は何にもないと思われがちですが、ガスやチリや石ころのようなカケラがたくさん浮遊しています。

冬の星空は空気が澄んでいて、とても綺麗ですが、眺めるときは防寒対策をしっかりとって風邪をひかないように気をつけましょう。

くいずクイズ QUIZ

お馬さんがたくさんいます。あれれ牛さんが混じっているよ。牛は何頭いるかな？



先月号の答え

